

# 松山市のオープンデータ取組事例

2019.10.11

松山市 総合政策部 I C T 戦略課

# 1. 国と松山市のオープンデータの主な取組

## 国の主な取組

H24/07 電子行政オープンデータ戦略を策定

H25/06 電子行政オープンデータ推進のためのロードマップ決定

H27/02 地方公共団体オープンデータ推進ガイドライン公開

H28/05 【オープンデータ2.0】の決定

H28/12官民データ活用推進基本法施行

H29/5オープンデータ基本指針の決定

H29/12推奨データセットの策定

H24年度以前

H25年度

H26年度

H27年度

H28年度

H29年度

H30年度

H26/7 先進自治体視察（横浜市）

H27及びH28 「ICT地域マネージャー派遣事業」  
地域情報化アドバイザー：筑波大学 川島教授

H27/7 オープンデータP T（プロジェクトチーム）設置

H28/3 松山市オープンデータ推進ガイドライン策定

**H28/10 「松山市オープンデータサイト」公開**

H30/2  
松山圏域オープンデータ推進ガイドライン策定

**H30/3  
「愛媛大学・愛媛県法人会連合会・松山市とのデータ利活用連携協定」締結**

**H30/10  
松山圏域の6市町でオープンデータ公開**

H30/11  
まつやまデータ利活用研究協議会設置総会



MATSUYAMA  
OPEN DATA

## 松山市の主な取組

## 2. 松山市のオープンデータの考え方

オープンデータの取り組みを推進するためには、  
下記の3つの視点が重要となる。

- ①情報を必要な人に、適切にデータを提供すること  
(データ公開)
- ②公開したデータの利活用を促進すること  
(データ利活用促進)
- ③市民や企業等と協働すること  
(産学官民連携)

#### ◇松山市オープンデータ公開までの取り組み

- 平成27年度
  - 「ICT地域マネージャー派遣事業」を活用
    - ※情報化アドバイザー：筑波大学 川島教授
  - オープンデータPT（プロジェクトチーム）の立ち上げ
  - 庁内データ調査、企業等のニーズ調査
  - 「松山市オープンデータ推進ガイドライン」策定（H28.3）
- 平成28年度
  - オープンデータサイトを公開（H28.10）

# 3. 松山市のオープンデータの現状

市ホームページにオープンデータサイトを公開（H28.10～）



松山市オープンデータサイト

更新日：2019年6月7日

このサイトでは、松山市が保有する公共データを、オープンデータとして提供しています。  
各コンテンツのご利用に当たっては、**利用規約をご確認ください**。

なお、**CSV形式のファイルは、右クリックで保存してください**。



MATSUYAMA  
OPEN DATA

松山市オープンデータロゴマークです。

[CSV形式ファイルの保存方法 \(PDF: 359KB\)](#)  
[オープンデータとは](#) [利用規約](#) [CCライセンス](#) [出典表示の方法](#) [ガイドライン](#) [松山圏域6市町のオープンデータの取り組み](#)

新着オープンデータ

2019年9月5日

[オープンデータサイトに「水質検査結果（簡易水道）」を更新しました](#)

2019年9月5日

[オープンデータサイトに「水質検査結果（上水道）」を更新しました](#)

2019年9月3日

[オープンデータサイトの「推計人口（毎月1日時点）」を更新しました](#)

2019年9月3日

[オープンデータサイトの「外国人人口」を更新しました](#)

2019年9月3日

[オープンデータサイトの「住民基本台帳登録人口（毎月1日時点）」を更新しました](#)

[新着情報一覧へ](#)

キーワード検索

調べたい語句（キーワード）を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。  
※複数のキーワードで探す場合には、空白（スペース）で区切ってください。

検索

データ分類

[市政情報](#)

[観光・文化・スポーツ](#)

[交通・経済](#)

[暮らし・住まい](#)

[子育て・教育](#)

[医療・福祉](#)

[防災・安全](#)

[選挙](#)

[位置情報](#)

[画像](#)

[推奨データセット](#)

公開データ: 市政情報や観光・文化・スポーツなど10分類  
公開件数: 803ファイル (R1. 9. 19時点)

#### ◇連携中枢都市圏（松山圏域）でオープンデータを公開

松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町の6市町で形成する連携中枢都市圏（松山圏域）が共同でオープンデータの取り組みを推進

- 平成28年度
  - 松山圏域オープンデータロードマップ作成
- 平成29年度
  - 「松山圏域オープンデータ推進ガイドライン」策定（H30.2）
- 平成30年度
  - 松山圏域の6市町でオープンデータを公開（H30.10）

## 松山圏域各市町のホームページ上に公開（H30.10～）

### 松山圏域オープンデータの取り組みについて

更新日：2019年3月31日

松山圏域(松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町)でのオープンデータの取り組みについてご紹介します。

### 【松山圏域でのオープンデータの公開】

松山圏域の6市町では「まつやま圏域未来共創ビジョン」に基づいて、各市町が保有する公共データをオープンデータとして公開しています。松山圏域でオープンデータを公開することは、行政の透明性・信頼性・効率性の向上、住民・企業との協働を生み、住民の利便性向上や新たなビジネスの創出につながるなど、広域圏の地域活性化やさまざまな地域課題の解決が期待されます。

### 【松山圏域における推奨データセットの公開】

松山圏域では、一部のデータセットを国が示す推奨データセットに基づき、共通のフォーマットを使用して公開しています。  
※推奨データセットとは、地方公共団体によるオープンデータの公開とその利活用を促進するため、オープンデータに取り組み始める地方公共団体の参考となるよう、公開することが推奨されるデータセット及びフォーマット標準例を取りまとめたものです。

データセット

データ名
<a href="#">AED設置箇所一覧</a>
<a href="#">文化財一覧</a>
<a href="#">公衆無線LANアクセスポイント一覧</a>
<a href="#">子育て施設一覧</a>
<a href="#">オープンデータ一覧</a>

松山圏域の各市町のオープンデータは、下記リンクからご覧ください。

- [伊予市](#)
- [東温市](#)
- [久万高原町](#)
- [松前町](#)
- [砥部町](#)

- ・松山圏域の6市町で新たに102ファイルを公開
- ・AED設置箇所一覧など一部のデータは推奨データセットで公開

- 『チャレンジ！！オープンガバナンス』  
（市民参加型地域課題解決アイデアコンテスト）  
2017、2018応募
- Code for DOGOとの連携  
（愛媛大学と松山大学の教員・学生および市民による組織）

- 平成30年3月26日（月）

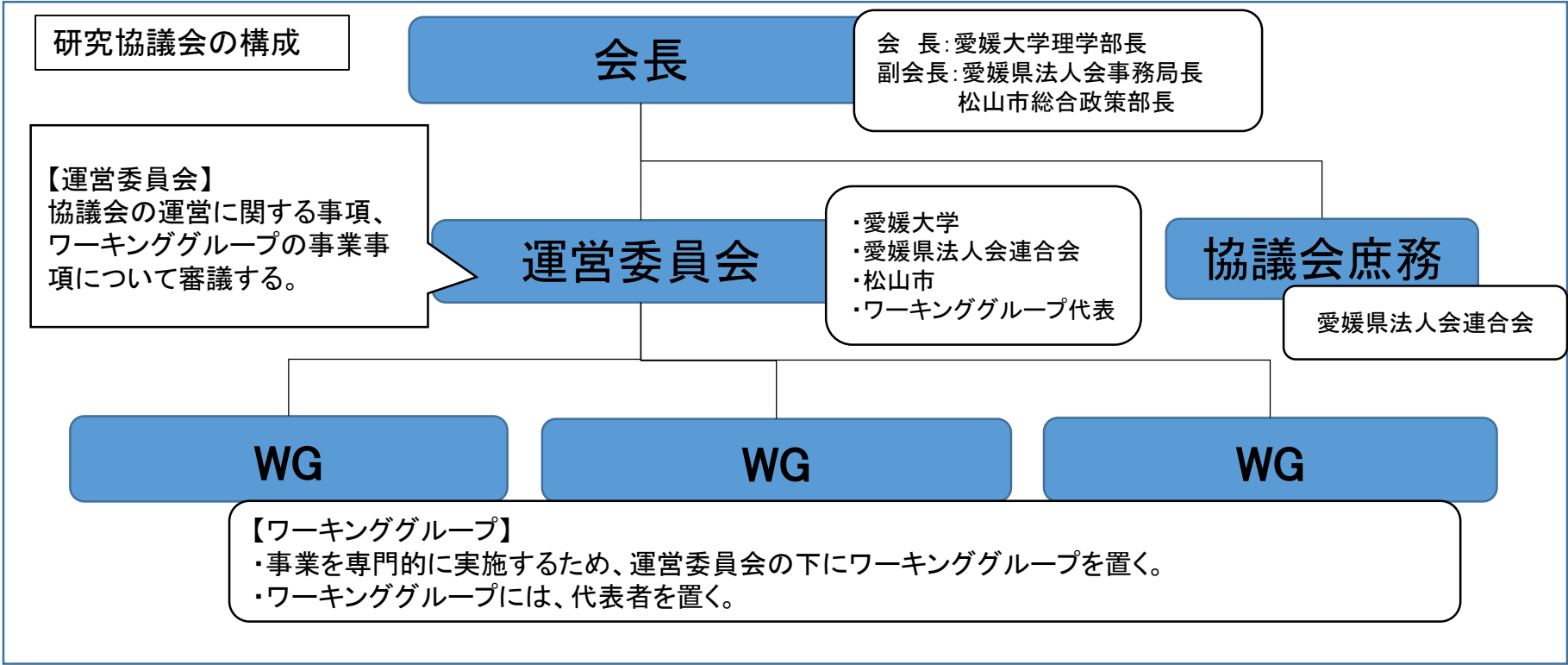
愛媛大学 愛媛県法人会連合会と「データ利活用」に関する連携協力協定を締結



（左から）愛媛大学 大橋学長、松山市 野志市長、愛媛県法人会連合会 森田会長

## まつやまデータ利活用研究協議会の設置（H30.11）

- 「データ利活用」に関する協定に基づき、「まつやまデータ利活用研究協議会」を設置（会員9団体：R1.9末時点）
- データ利活用の研究等を通じて地域課題の解決、地域人材の育成及び地域産業の活性化を目指す。



## ワーキンググループの設置

- 3つのワーキンググループでデータ利活用を推進

ワーキンググループ名	概要
移動体管理によるエリアマネジメント	観光地等、市内の場所を選定し、そのエリアの人流等の情報を収集し、将来のエリア振興施策立案に向けたデータ利活用の可能性を研究
健康医療福祉分野でのデータ活用	健診受診率向上、重症化予防に向けた個人データの集約・活用の課題の共有と解決を研究
官民データを活用した企業活動支援による地域経済活性化サービスの検討	地域企業を元気にし、魅力的な雇用機会を創出するため、地域企業の情報発信と企業情報の容易な取得を可能とし、営業活動や企業調査に活用することで情報とお金が循環し、地域経済が活性化するような環境構築を研究

## 研究協議会の活動（一部抜粋）

「地域経済活性化WG」産学官のメンバーによるワークショップ（H31.1～3月）



- 愛媛大学（教員、学生）
- 愛媛県法人会連合会
- 松山市役所職員
- 民間企業

「令和元年度 まつやまデータ利活用研究協議会総会」（R1.5.31）



- 平成30年度 事業報告
- 令和元年度 事業計画 など

※「官民データを活用した企業活動支援による地域経済活性化サービス検討WG」活動報告資料より作成

- ・ 2018年度のオープンデータ・ビッグデータに関する優れた取り組みの表彰（一般社団法人 オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構）



表彰式：東京赤坂にて（平成31年3月6日）

## 4. 松山市のオープンデータの課題

### ①データ公開

- ・オープンデータ公開件件数のさらなる拡充が必要
- ・二次利用しやすいデータ形式での公開が必要
- ・複数自治体でのカタログサイト利用など、新たなデータの公開手法の検討が必要
- ・ニーズに即したデータの提供方法について
- ・非識別加工情報について

### ②データ利活用促進

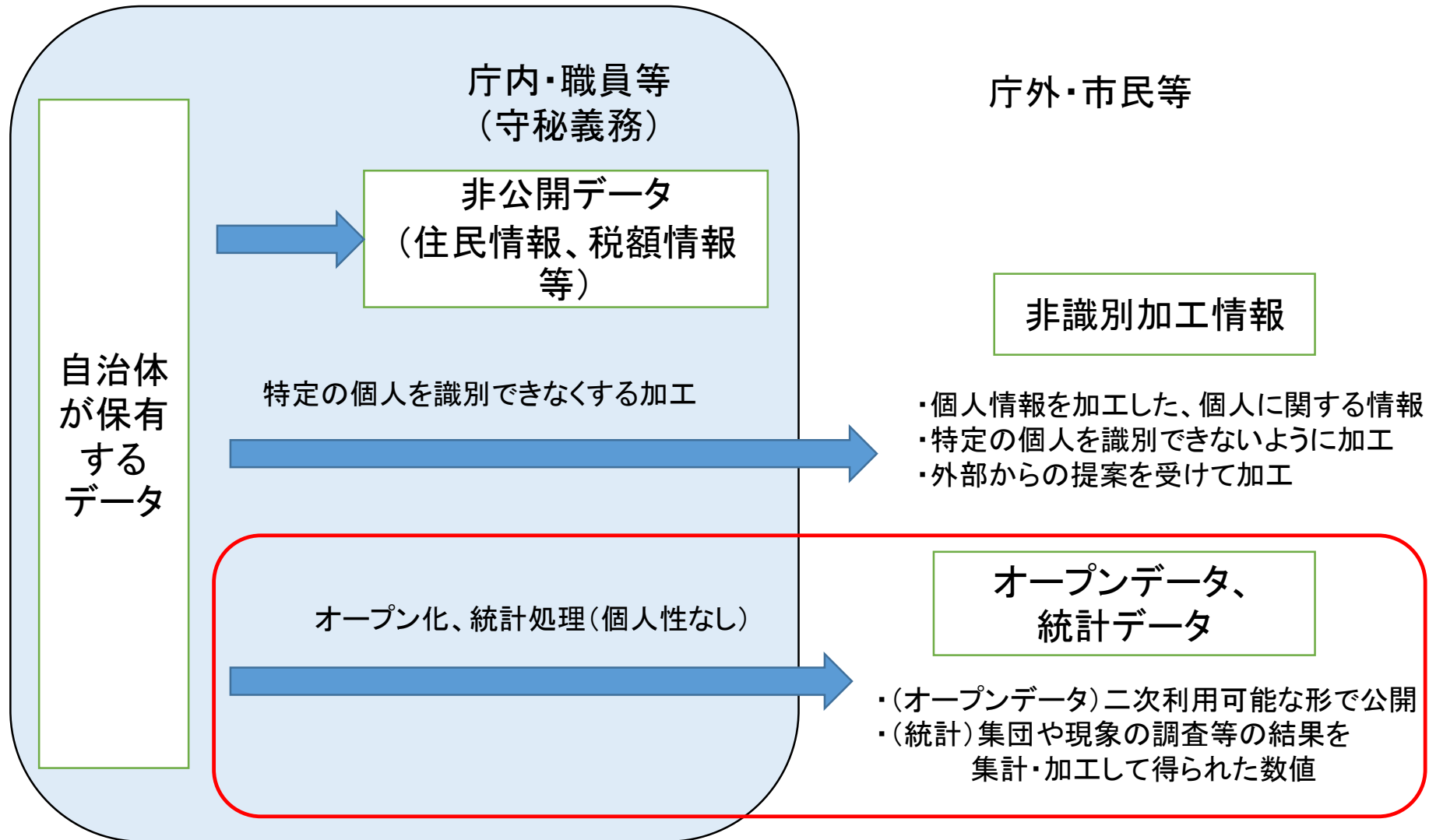
- ・オープンデータの利用を拡大する取組みが必要

### ③産学官民連携

- ・市民や企業等のニーズを把握する方法や仕組みが必要

## 5. 自治体が保有する行政データの類型

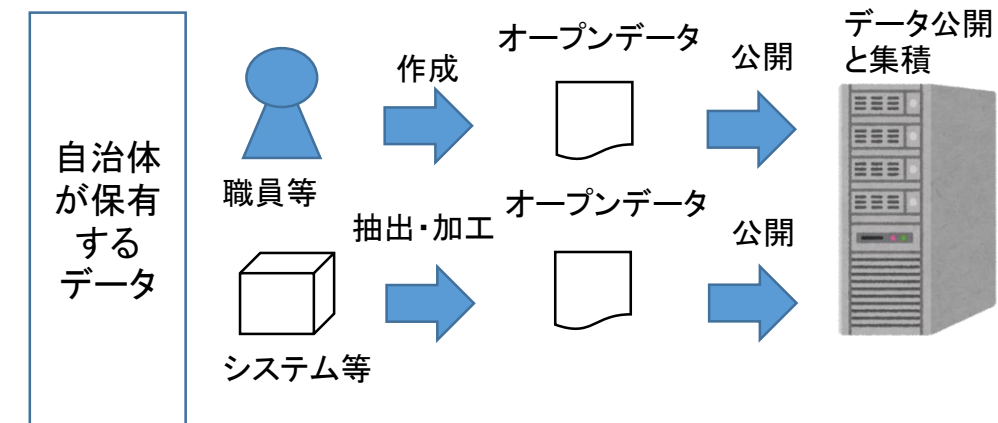
### オープンデータ、統計データ、非識別加工情報



※「地方公共団体におけるデータ利活用の推進について」  
総務省資料より独自作成

## 6. 松山市が考えるオープンデータのあり方

### ①データ公開

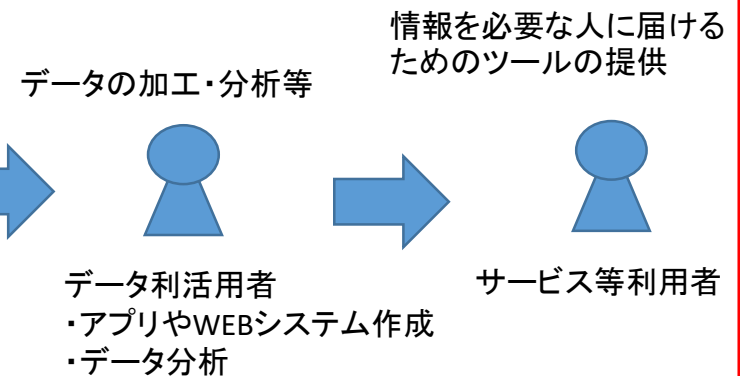


ニーズに即したデータ提供  
・保有データの整理  
・ニーズの受付体制の整備  
・ルール作成

データの作成  
・機械判読に適したデータ形式  
・統一フォーマット

主な公開手段  
・ホームページ  
・カタログサイト  
・カタログサイトの共同利用

### ②データ利活用促進



オープンデータを活用してもらうために  
・アイデアソンやハッカソンなどのイベント開催  
・データ利活用コンテスト等への参加  
・データを活用する人材の育成支援  
・オープンデータの利活用方法具体的事例の活用

### ③産学官民連携(地域プラットフォーム)

- ・住民や企業等と対話をする場の創出
- ・地域のデータを活用する人材の育成
- ・住民や企業等のニーズを把握する方法や仕組みの構築

ニーズの反映

## 7. 松山市のオープンデータの今後の方針

### ①データ公開

- ・オープンデータ公開件件数の拡充
- ・二次利用しやすいデータ形式や推奨データセットでの公開件数を拡充
- ・複数自治体でのカタログサイトの検討・協議

### ②データ利活用促進

- ・『チャレンジ！！オープンガバナンス2019』応募

### ③産学官民連携

- ・「まつやまデータ利活用研究協議会」のワーキングで取組を推進
- ・民間企業等のニーズ把握（アンケート調査）実施

ご清聴ありがとうございました



**MATSUYAMA  
OPEN DATA**